

令和 6（2024）年度 人権相談・啓発等事業
令和 5（2023）年度の大阪府内における人権に関する相談の状況

大阪府では、人権相談や人権啓発の充実につなげるため、令和 5（2023）年度に大阪府や市町村の人権相談窓口等が対応した人権に関する相談の状況について集約を行いました。

対象機関、集約方法等の概要は以下のとおりです。

■対象機関

1. 大阪府人権相談窓口

大阪府では、「大阪府人権相談窓口」を設置し、その運営を一般財団法人 大阪府人権協会に委託しています。人権侵害を受け、または受けるおそれのある府民が、自らの主体的な判断により課題を解決することができるように、事案に応じた適切な助言や情報提供等を行う人権相談事業を行っています。

- ・ 大阪府 府民文化部 人権局
- ・ 一般財団法人 大阪府人権協会

2. 市町村における人権に関する総合的な相談機関

市町村では、人権相談担当部署（人権文化センター等を含む）と市町村人権協会・人権地域協議会が、人権に関する様々な相談に対応しており、市町村や地域レベルの身近な相談窓口となっています。

- ・ 市町村人権相談担当部署（人権文化センター等を含む）
- ・ 市町村人権協会・人権地域協議会

	対象機関数			回収機関数			回収率		
	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
1.「大阪府人権相談窓口」	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	100.0%	100.0%	100.0%
2.「市町村における人権に関する総合的な相談機関」	112か所	112か所	112か所	112か所	112か所	112か所	100.0%	100.0%	100.0%
合計	114か所	114か所	114か所	114か所	114か所	114か所	100.0%	100.0%	100.0%

■集約方法

対象機関に対して、郵送や電子メールにより、令和 5（2023）年度に受けた相談件数の提供を依頼しました。

具体的には、総実件数と総延べ件数および、その内訳（「人権課題別」、「相談形態別」、「相談者の性別」、「相談者の年齢別」、「対応状況別」、「その後の経過別」）です。

対象機関への依頼内容の詳細は、別紙（人権相談件数等集計表）のとおりです。

■集約期間

令和6（2024）年6月12日付で対象機関に依頼し、同年7月8日を提出期限として回収しました。

■集計した総件数

対象機関から提出のあった総件数は以下のとおりです。「大阪府人権相談窓口」への相談件数が年々、増加し続けています。

	総実件数			総延べ件数		
	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
1.「大阪府人権相談窓口」	767件	783件	792件	3,717件	3,835件	3,986件
2.「市町村における人権に関する総合的な相談機関」	6,816件	5,227件	5,504件	10,583件	8,960件	9,395件
合計	7,583件	6,010件	6,296件	14,300件	12,795件	13,381件

※「総実件数」と「総延べ件数」との区別をしていない機関については、両件数に同数を計上しています。

※「総実件数」 … 相談者数

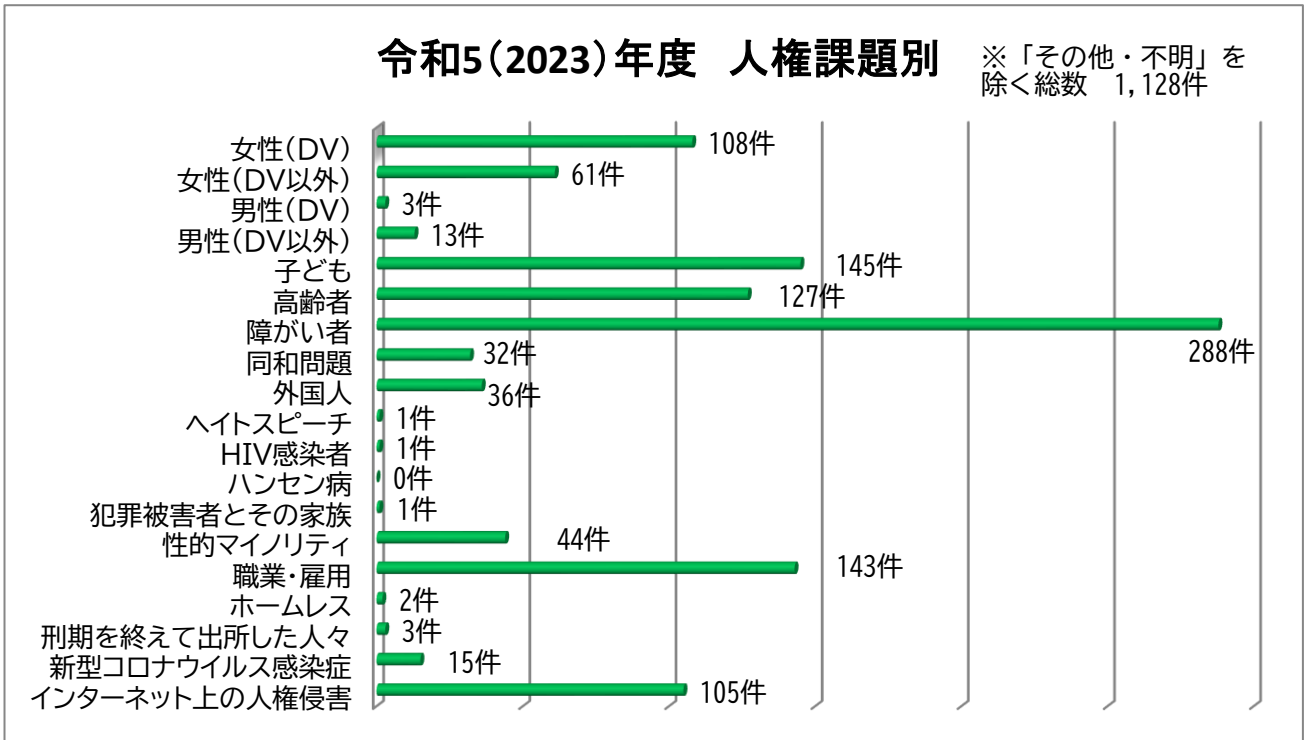
「総延べ件数」 … 相談件数

1. 「大阪府人権相談窓口」に寄せられた相談

(1) 人権課題別 (実件数/重複計上あり)

多いものから、「障がい者」288件(25.5%)、「子ども」145件(12.9%)、「職業・雇用」143件(12.%)の順になっています。

前年度に比べ、特に「高齢者」や「障がい者」、「外国人」、「子ども」、「インターネット上の人権侵害」が増加しています。また、「新型コロナウイルス感染症」や「ヘイトスピーチ」が減少しています。



経年比較(人権課題別)

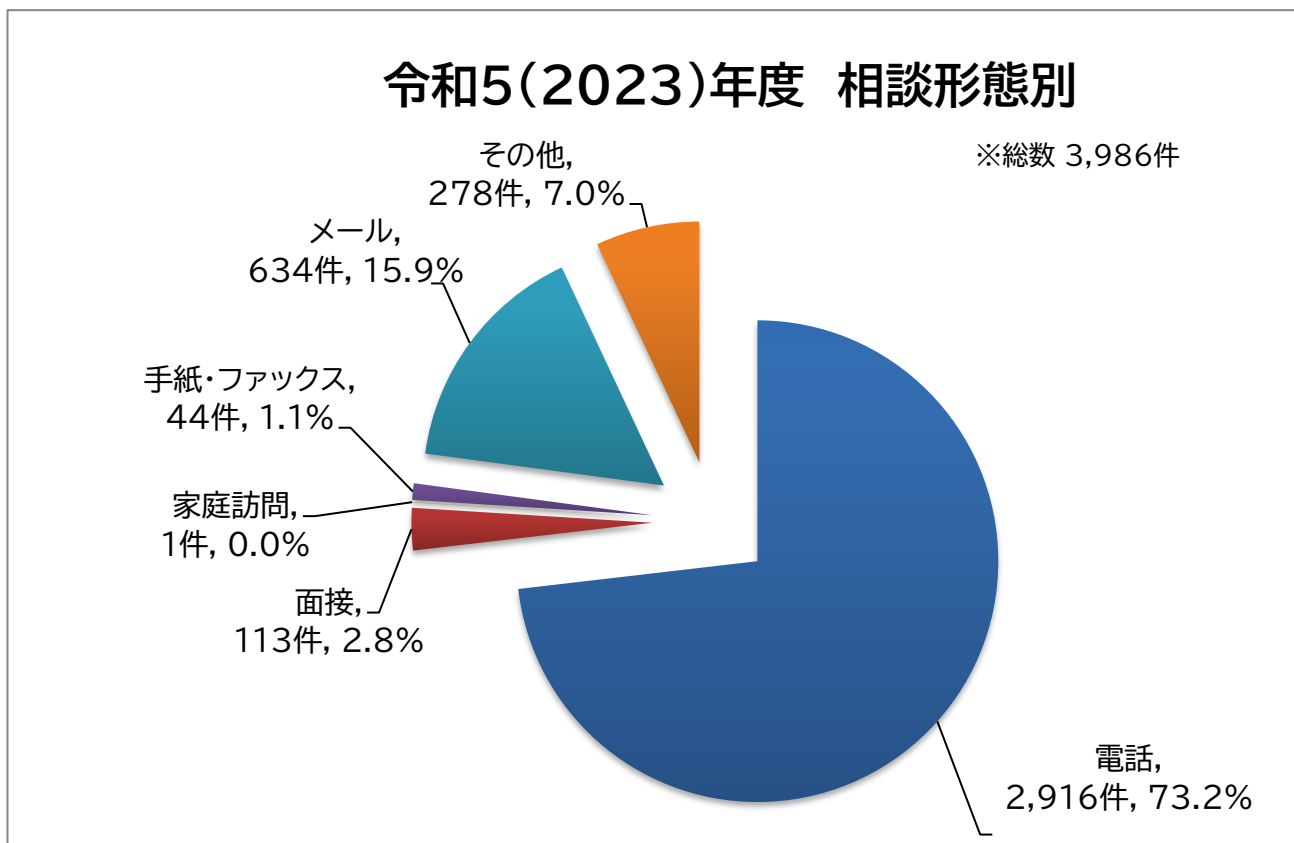
※「その他・不明」を除く 総数 1,128件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
女性(DV)	45件	(5.3%)	83件	(9.2%)	108件	(9.6%)
女性(DV以外)	28件	(3.3%)	34件	(3.8%)	61件	(5.4%)
男性(DV)	3件	(0.4%)	1件	(0.1%)	3件	(0.3%)
男性(DV以外)	1件	(0.1%)	0件	(0.0%)	13件	(1.2%)
子ども	65件	(7.7%)	111件	(12.3%)	145件	(12.9%)
高齢者	73件	(8.6%)	59件	(6.5%)	127件	(11.3%)
障がい者	169件	(20.0%)	218件	(24.1%)	288件	(25.5%)
同和問題	19件	(2.2%)	47件	(5.2%)	32件	(2.8%)
外国人	4件	(0.5%)	2件	(0.2%)	36件	(3.2%)
ヘイトスピーチ	27件	(3.2%)	23件	(2.5%)	1件	(0.1%)
HIV感染者	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)	1件	(0.1%)
ハンセン病	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)
犯罪被害者とその家族	12件	(1.4%)	4件	(0.4%)	1件	(0.1%)
性的マイノリティ	35件	(4.1%)	39件	(4.3%)	44件	(3.9%)
職業・雇用	122件	(14.4%)	130件	(14.4%)	143件	(12.7%)
ホームレス	3件	(0.4%)	0件	(0.0%)	2件	(0.2%)
刑期を終えて出所した人々	1件	(0.1%)	0件	(0.0%)	3件	(0.3%)
新型コロナウイルス感染症	198件	(23.4%)	83件	(9.2%)	15件	(1.3%)
インターネット上の人権侵害	41件	(4.8%)	71件	(7.8%)	105件	(9.3%)

(2) 相談形態別 (延べ件数)

多いものから、「電話」での相談 2,916 件 (73.2%)、「メール」での相談 634 件 (15.9%) の順になっています。

前年度に比べ、「電話」や「面接」での相談が増加し、「メール」や「手紙・ファックス」での相談が減少しています。



経年比較 (相談形態別)

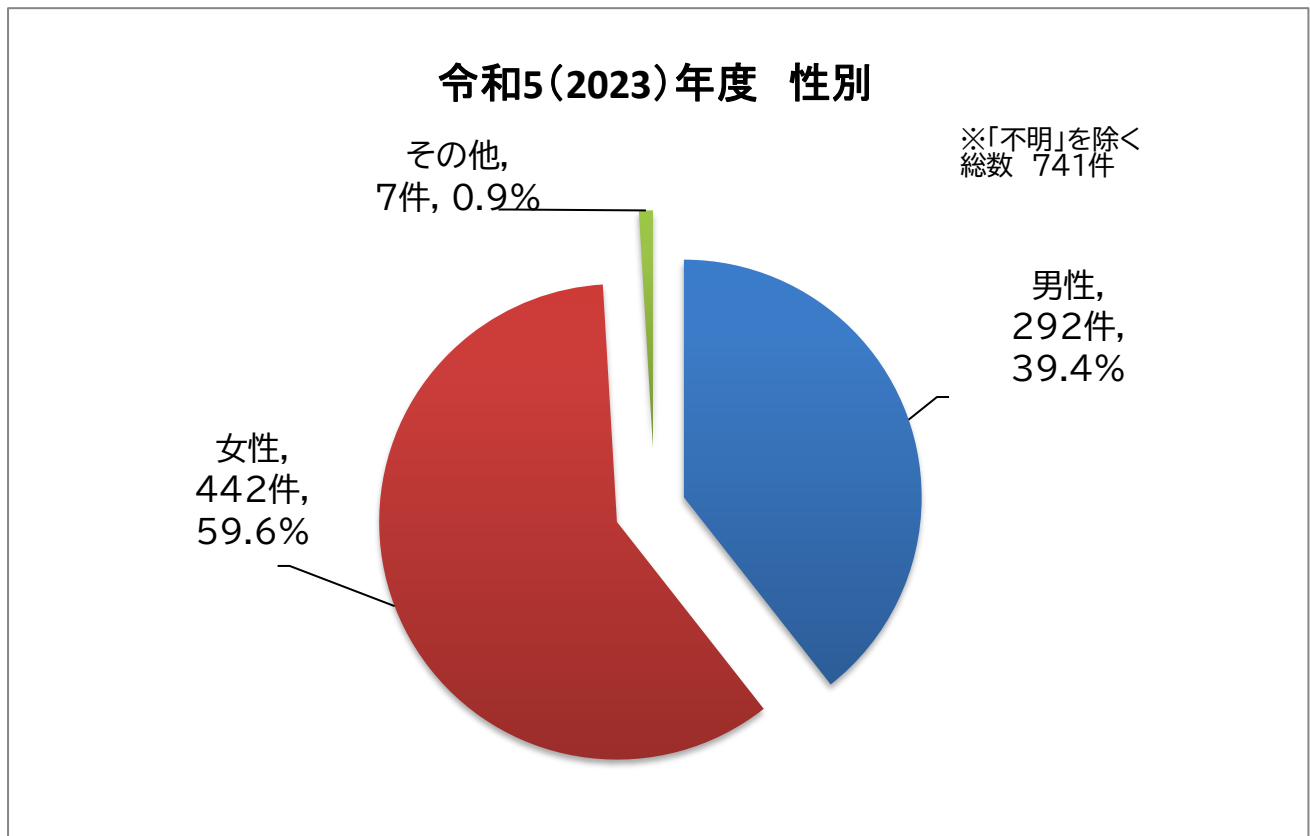
※総数 3,986件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
電話	2,658件	(71.5%)	2,568件	(67.0%)	2,916件	(73.2%)
面接	58件	(1.6%)	65件	(1.7%)	113件	(2.8%)
家庭訪問	2件	(0.1%)	0件	(0.0%)	1件	(0.0%)
手紙・ファックス	84件	(2.3%)	98件	(2.6%)	44件	(1.1%)
メール	501件	(13.5%)	836件	(21.8%)	634件	(15.9%)
その他	414件	(11.1%)	268件	(7.0%)	278件	(7.0%)

(3) 相談者の性別 (実件数)

「女性」からの相談が442件(59.6%)、「男性」からの相談が292件(39.4%)、「その他」の相談が7件(0.9%)となっています。

前年度に比べ、「女性」と「その他」からの相談が増加し、「男性」からの相談が減少しています。なお、「その他」の相談に、性的マイノリティ当事者からの相談を含んでいます。



経年比較 (性別)

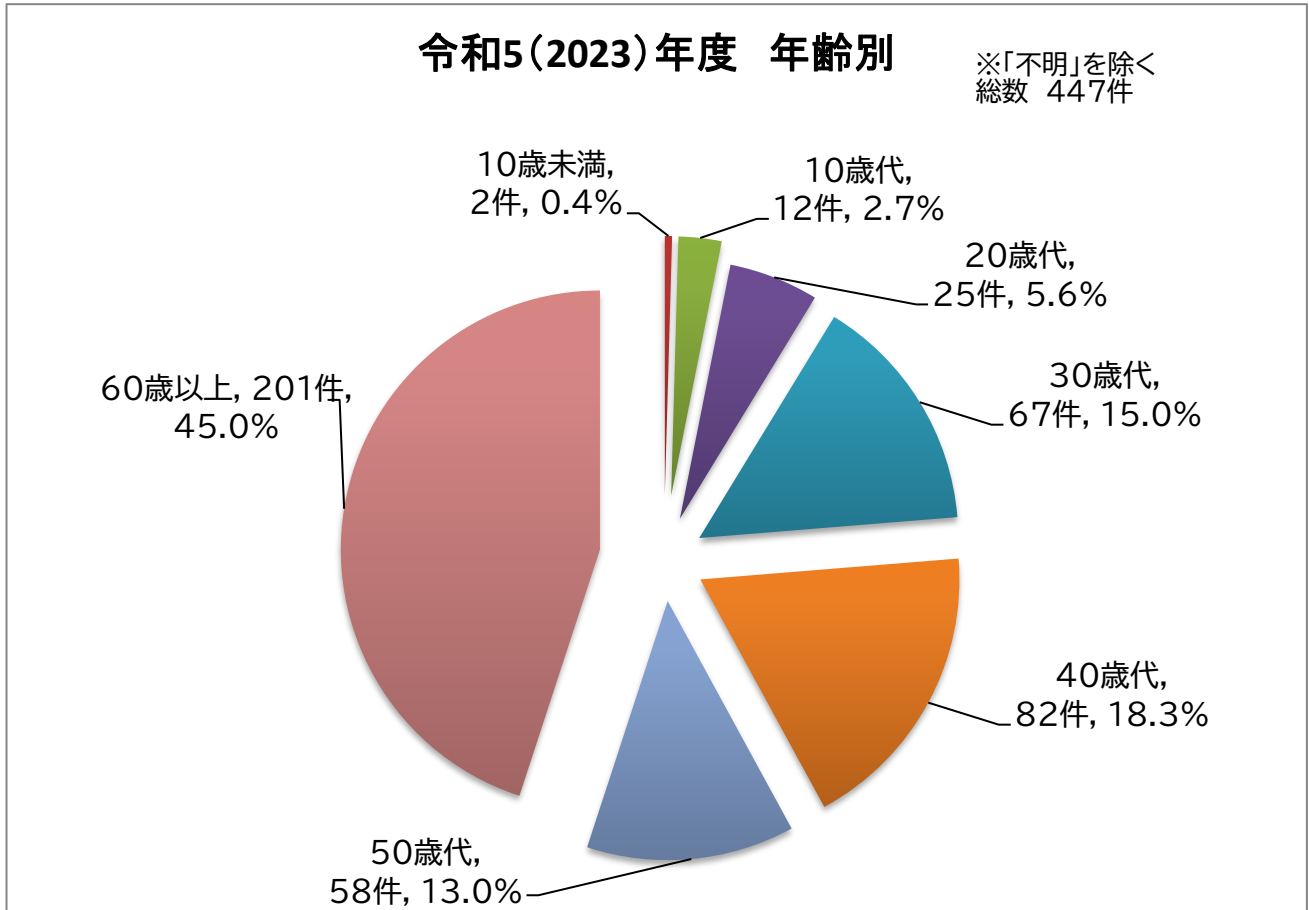
※「不明」を除く 総数 741件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
男性	282件	(41.1%)	332件	(43.6%)	292件	(39.4%)
女性	393件	(57.3%)	426件	(56.0%)	442件	(59.6%)
その他	11件	(1.6%)	3件	(0.4%)	7件	(0.9%)

(4) 相談者の年齢別 (実件数)

「60歳以上」が201件(45.0%)と最も多く、次いで「40歳代」が82件(18.3%)、「30歳代」が67件(15.0%)の順となっています。

全体に占める40歳以上の相談者の割合は76.3%であり、中高年齢層からの相談が年々、増加し続けています。



経年比較 (年齢別)

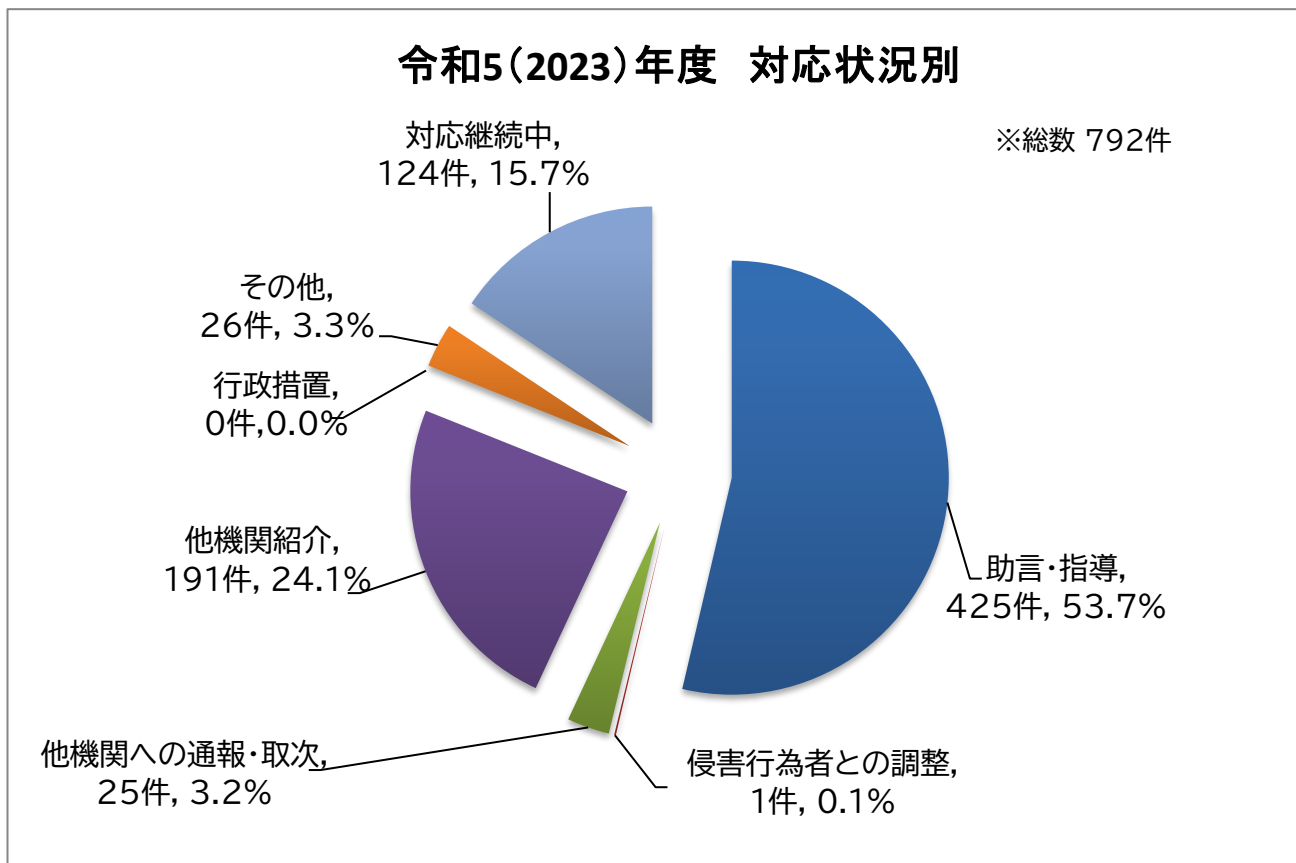
※「不明」を除く 総数 447件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10歳未満	0件	(0.0%)	2件	(0.5%)	2件	(0.4%)
10歳代	7件	(1.9%)	9件	(2.3%)	12件	(2.7%)
20歳代	27件	(7.2%)	30件	(7.7%)	25件	(5.6%)
30歳代	66件	(17.7%)	69件	(17.7%)	67件	(15.0%)
40歳代	61件	(16.4%)	69件	(17.7%)	82件	(18.3%)
50歳代	53件	(14.2%)	49件	(12.6%)	58件	(13.0%)
60歳以上	159件	(42.6%)	162件	(41.5%)	201件	(45.0%)

(5) 対応状況別 (実件数)

多いものから、「助言・指導」425件(53.7%)、「他機関紹介」191件(24.1%)の順になっています。「助言・指導」が年々、増加し続けています。

「その他」26件(3.3%)には、「話を聴いてほしい」という相談への傾聴対応等が含まれています。



経年比較 (対応状況別)

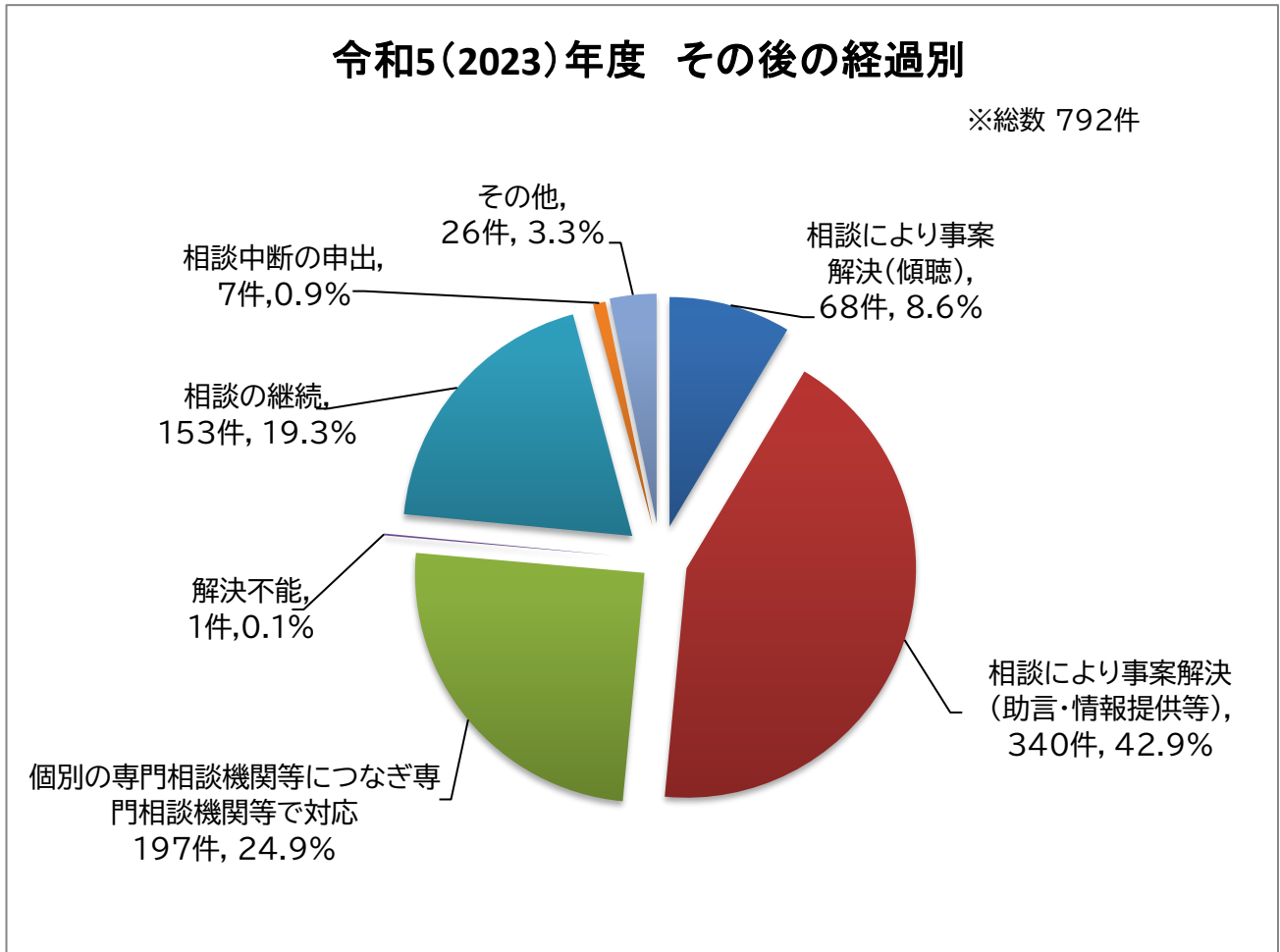
※総数 792件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
助言・指導	360	(46.9%)	419	(51.9%)	425	(53.7%)
侵害行為者との調整	1	(0.1%)	0	(0.0%)	1	(0.1%)
他機関への通報・取次	7	(0.9%)	5	(0.6%)	25	(3.2%)
他機関紹介	217	(28.3%)	210	(26.0%)	191	(24.1%)
行政措置	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	79	(10.3%)	69	(8.5%)	26	(3.3%)
対応継続中	103	(13.4%)	105	(13.0%)	124	(15.7%)

(6) その後の経過別 (実件数)

多いものから、「相談により事案解決(助言・情報提供等)」340件(42.9%)、「個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等で対応」197件(24.9%)の順になっています。

前年度に比べ、特に「相談により事案解決(助言・情報提供等)」が増加しています。



経年比較 (その後の経過別)

※総数 792件

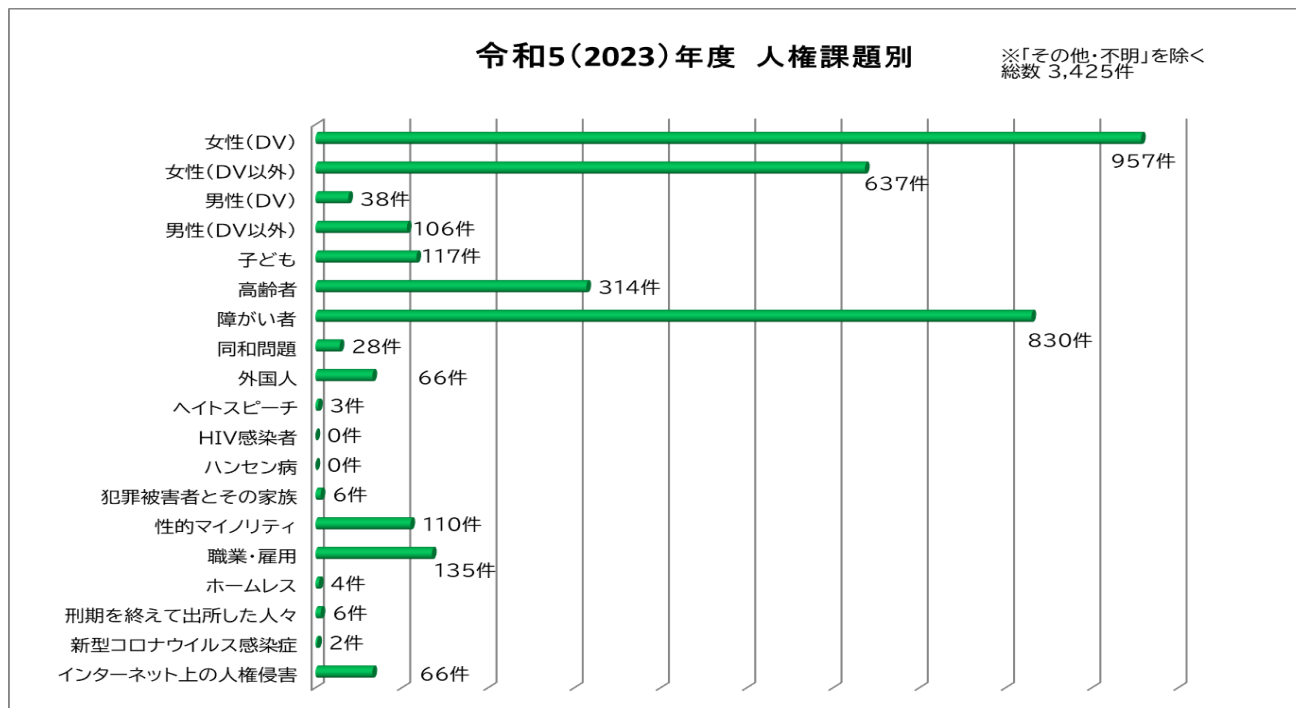
	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
相談により事案解決(傾聴)	79件	(10.3%)	96件	(11.9%)	68件	(8.6%)
相談により事案解決(助言・情報提供等)	292件	(38.1%)	297件	(36.8%)	340件	(42.9%)
個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等で対応	209件	(27.2%)	195件	(24.1%)	197件	(24.9%)
解決不能	1件	(0.1%)	1件	(0.1%)	1件	(0.1%)
相談の継続	144件	(18.8%)	180件	(22.3%)	153件	(19.3%)
相談中断の申出	4件	(0.5%)	15件	(1.9%)	7件	(0.9%)
その他	38件	(5.0%)	24件	(3.0%)	26件	(3.3%)

2. 「市町村における人権に関する総合的な相談機関」に寄せられた相談

(1) 人権課題別 (実件数/重複計上あり)

多いものから、「女性(DV)」957件(27.9%)、「障がい者」830件(24.2%)、「女性(DV以外)」637件(18.6%)の順になっています。

前年度に比べ、特に「女性(DV以外)」や「高齢者」、「性的マイノリティ」、「インターネット上の権利侵害」が増加した一方、「障がい者」や「職業・雇用」、「新型コロナウイルス感染症」が減少しています。



経年比較(人権課題別)

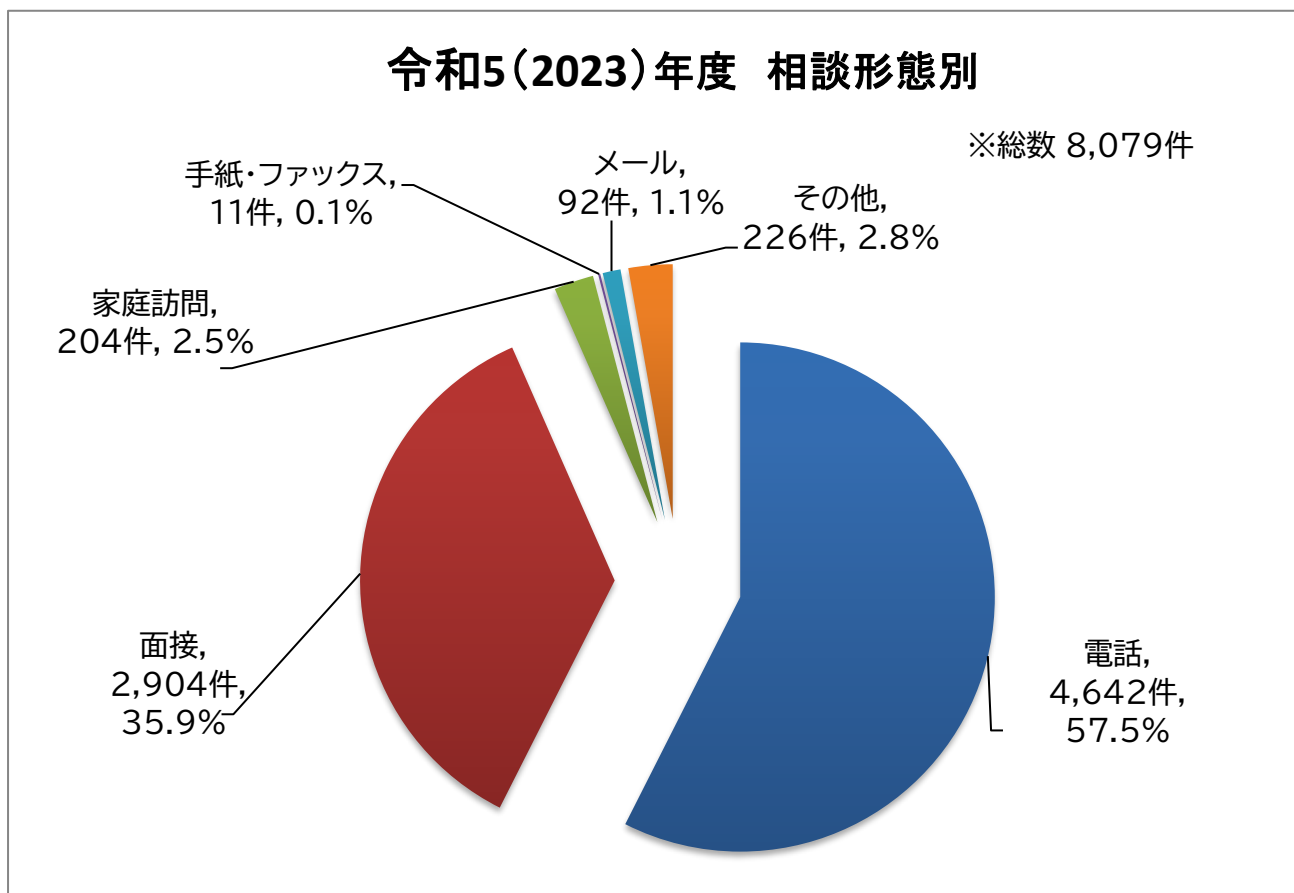
※「その他・不明」を除く 総数 3,425件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
女性(DV)	1,001件	(23.5%)	957件	(28.8%)	957件	(27.9%)
女性(DV以外)	474件	(11.1%)	368件	(11.1%)	637件	(18.6%)
男性(DV)	60件	(1.4%)	52件	(1.6%)	38件	(1.1%)
男性(DV以外)	101件	(2.4%)	105件	(3.2%)	106件	(3.1%)
子ども	155件	(3.6%)	118件	(3.5%)	117件	(3.4%)
高齢者	390件	(9.2%)	281件	(8.4%)	314件	(9.2%)
障がい者	1,110件	(26.0%)	1,019件	(30.6%)	830件	(24.2%)
同和問題	44件	(1.0%)	32件	(1.0%)	28件	(0.8%)
外国人	82件	(1.9%)	51件	(1.5%)	66件	(1.9%)
ヘイトスピーチ	2件	(0.1%)	1件	(0.0%)	3件	(0.1%)
HIV感染者	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)	0件	(0.0%)
ハンセン病	0件	(0.0%)	1件	(0.0%)	0件	(0.0%)
犯罪被害者とその家族	4件	(0.1%)	9件	(0.3%)	6件	(0.2%)
性的マイノリティ	84件	(2.0%)	67件	(2.0%)	110件	(3.2%)
職業・雇用	516件	(12.1%)	186件	(5.6%)	135件	(3.9%)
ホームレス	1件	(0.0%)	6件	(0.2%)	4件	(0.1%)
刑期を終えて出所した人々	2件	(0.1%)	3件	(0.1%)	6件	(0.2%)
新型コロナウイルス感染症	199件	(4.7%)	38件	(1.1%)	2件	(0.1%)
インターネット上の人権侵害	37件	(0.9%)	33件	(1.0%)	66件	(1.9%)

(2) 相談形態別 (延べ件数)

多いものから、「電話」での相談 4,642 件 (57.5%)、「面接」での相談 2,904 件 (35.9%) の順になっています。

前年度に比べ、「家庭訪問」、「面接」での相談が増加した一方、「電話」での相談が減少しています。



経年比較 (相談形態別)

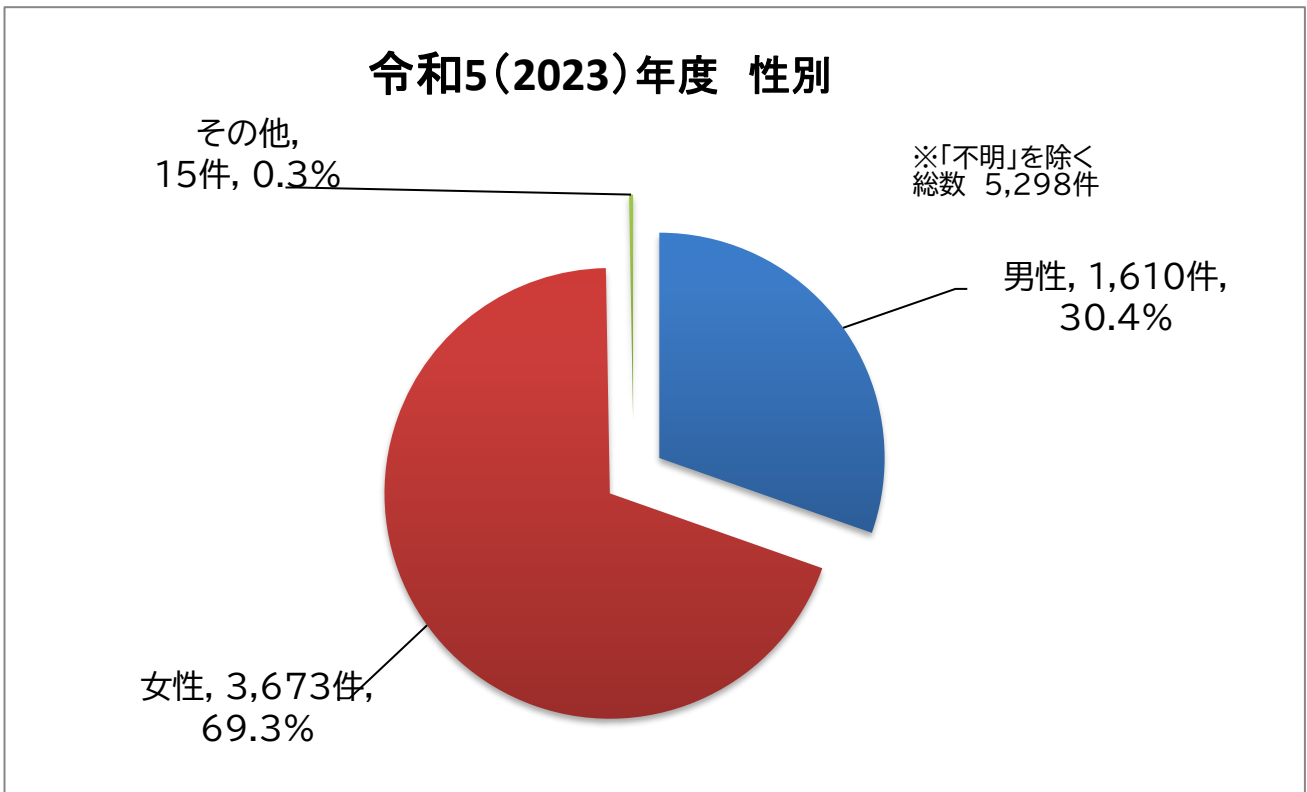
※総数 8,079件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
電話	6,085件	(65.3%)	5,189件	(62.9%)	4,642件	(57.5%)
面接	2,879件	(30.9%)	2,802件	(34.0%)	2,904件	(35.9%)
家庭訪問	70件	(0.8%)	53件	(0.6%)	204件	(2.5%)
手紙・ファックス	10件	(0.1%)	11件	(0.1%)	11件	(0.1%)
メール	98件	(1.1%)	51件	(0.6%)	92件	(1.1%)
その他	180件	(1.9%)	142件	(1.7%)	226件	(2.8%)

(3) 相談者の性別 (実件数)

「女性」からの相談が3,673件(69.3%)、「男性」からの相談が1,610件(30.4%)、「その他」の相談が15件(0.3%)となっています。

前年度に比べ、「女性」からの相談が増加した一方、「男性」からの相談が減少しています。「その他」は、性的マイノリティ当事者からの相談を含んでいます。



経年比較 (性別)

※「不明」を除く 総数 5,298件

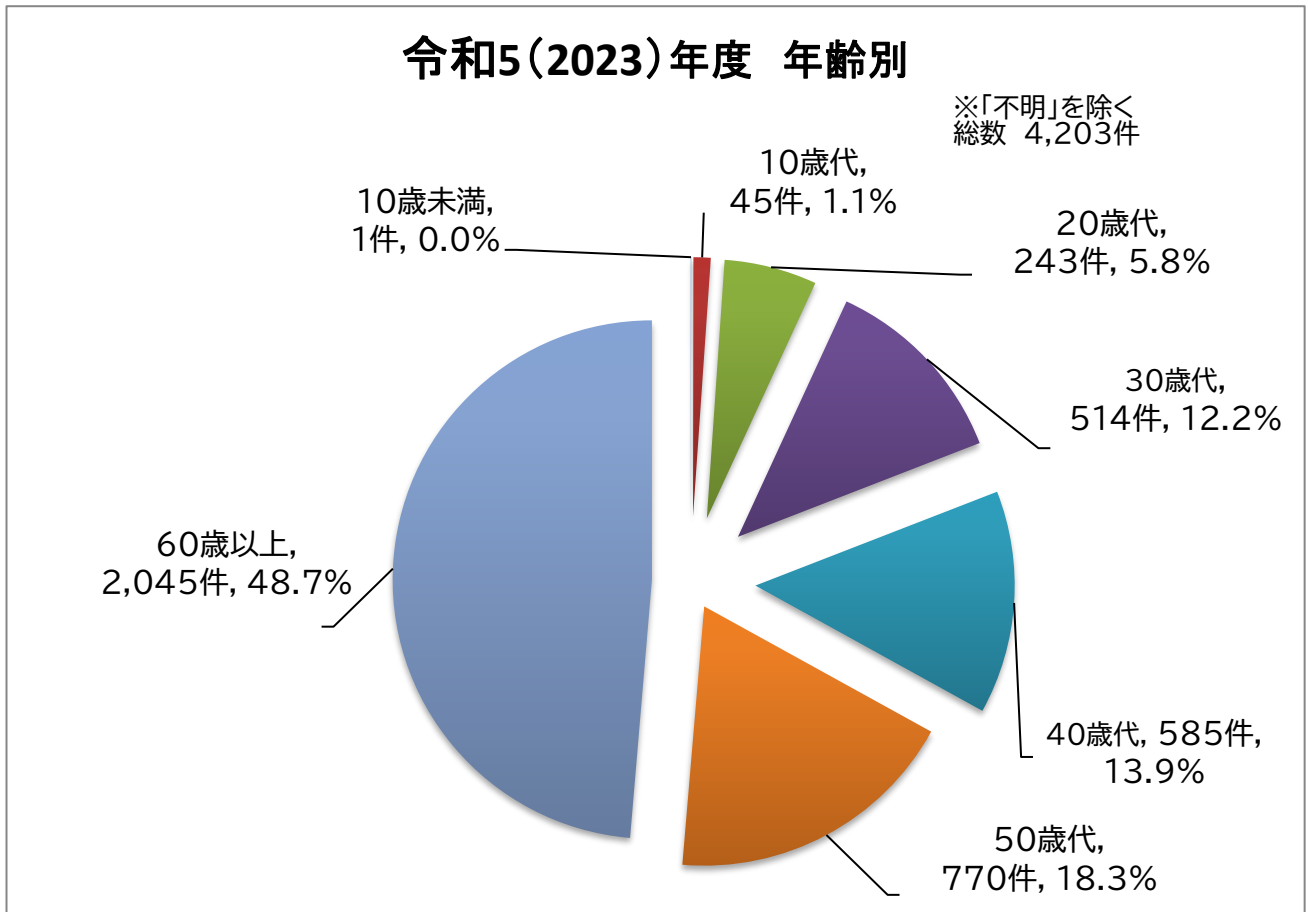
	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
男性	2,352件	(36.7%)	1,748件	(34.2%)	1,610件	(30.4%)
女性	4,038件	(62.9%)	3,349件	(65.6%)	3,673件	(69.3%)
その他	26件	(0.4%)	8件	(0.2%)	15件	(0.3%)

(4) 相談者の年齢別 (実件数)

多いものから、「60歳以上」2,045件(48.7%)、「50歳代」770件(18.3%)、「40歳代」585件(13.9%)の順になっています。

前年度に比べ、特に「60歳以上」からの相談が増加しています。また、「40歳代」と「50歳代」からの相談が減少しています。

全体に占める40歳以上の相談者の割合は80.9%であり、中高年齢層からの相談が多い状況となっています。



経年比較 (年齢別)

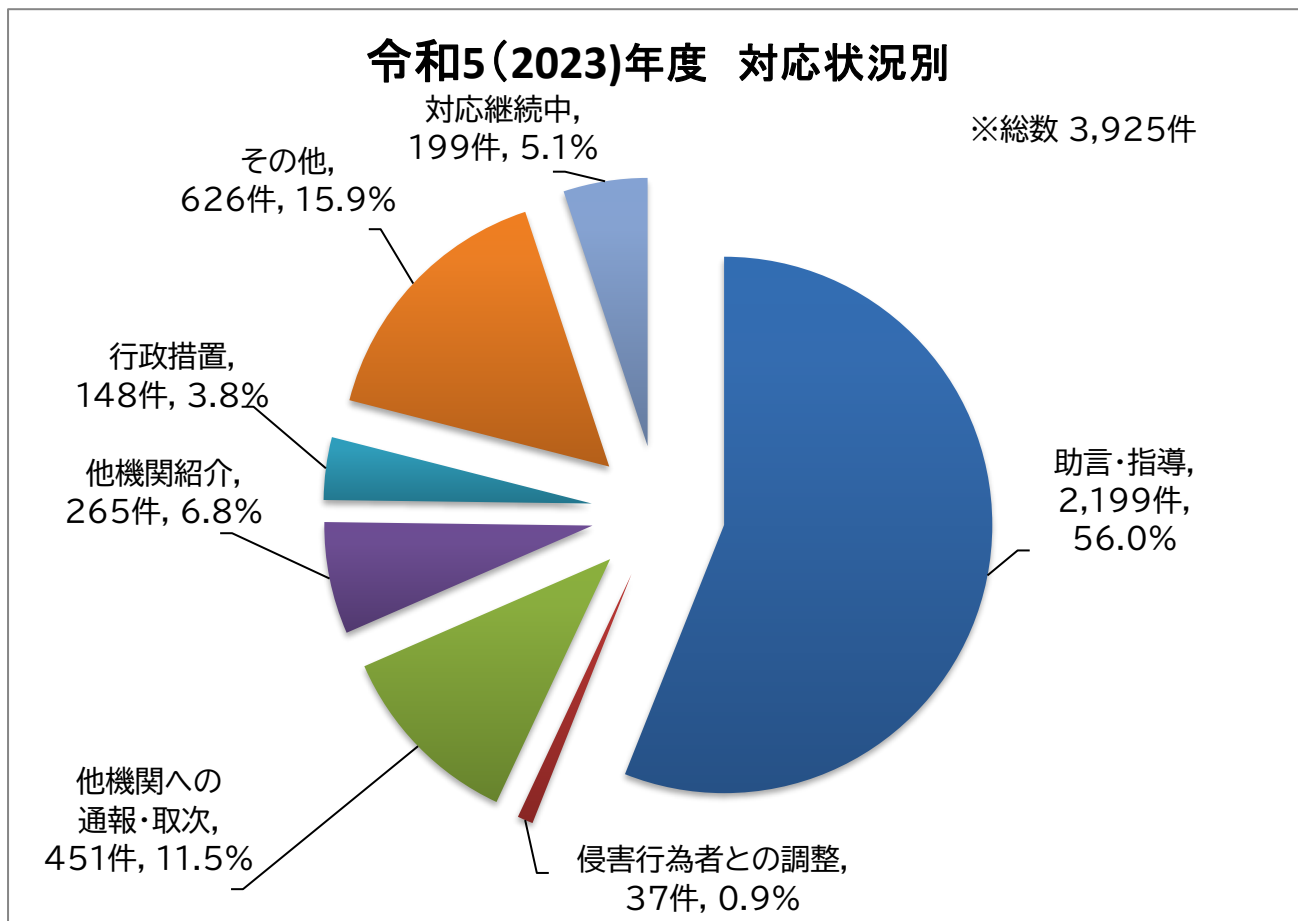
※「不明」を除く 総数 4,203件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
10歳未満	3件	(0.1%)	0件	(0.0%)	1件	(0.0%)
10歳代	61件	(1.2%)	53件	(1.3%)	45件	(1.1%)
20歳代	251件	(4.9%)	192件	(4.9%)	243件	(5.8%)
30歳代	437件	(8.5%)	424件	(10.7%)	514件	(12.2%)
40歳代	1,069件	(20.8%)	685件	(17.3%)	585件	(13.9%)
50歳代	1,519件	(29.5%)	877件	(22.2%)	770件	(18.3%)
60歳以上	1,811件	(35.2%)	1,719件	(43.5%)	2,045件	(48.7%)

(5) 対応状況別 (実件数)

「助言・指導」が2,199件(56.0%)と半分以上を占めています。次いで、「他機関への通報・取次」451件(11.5%)、「他機関紹介」265件(6.8%)、の順になっています。※「その他」と「対応継続中」を除く

「その他」626件(15.9%)には、「話を聴いてほしい」という相談への傾聴対応等が含まれています。



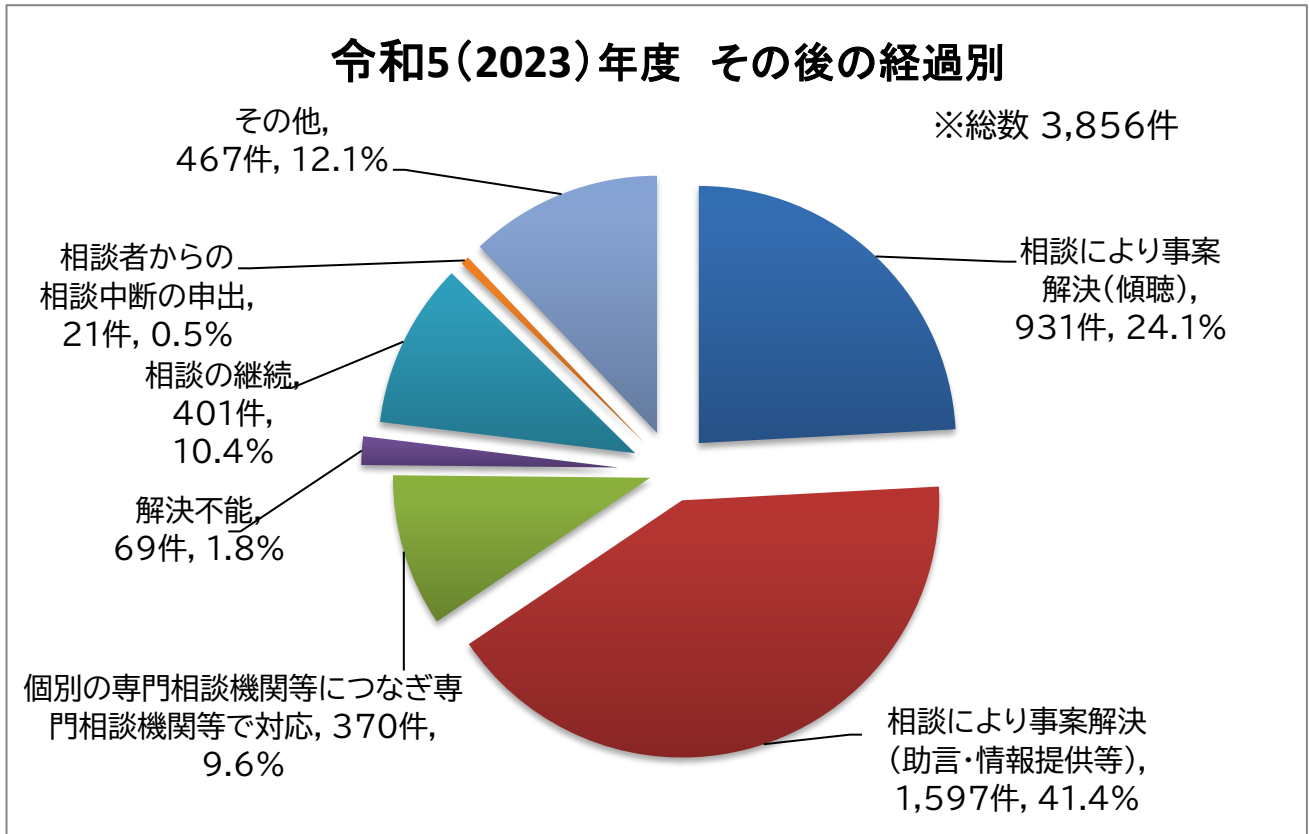
経年比較 (対応状況別)

	※総数 3,925件					
	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
助言・指導	1,909件	(49.8%)	1,676件	(48.4%)	2,199件	(56.0%)
侵害行為者との調整	34件	(0.9%)	48件	(1.4%)	37件	(0.9%)
他機関への通報・取次	330件	(8.6%)	325件	(9.4%)	451件	(11.5%)
他機関紹介	396件	(10.3%)	286件	(8.3%)	265件	(6.8%)
行政措置	140件	(3.7%)	134件	(3.9%)	148件	(3.8%)
その他	670件	(17.5%)	617件	(17.8%)	626件	(15.9%)
対応継続中	355件	(9.3%)	379件	(10.9%)	199件	(5.1%)

(6) その後の経過別 (実件数)

多いものから、「相談により事案解決(助言・情報提供等)」1,597件(41.4%)、「相談により事案解決(傾聴)」931件(24.1%)、「個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等で対応」370件(9.6%)の順になっています。※相談の継続、その他を除く

前年度に比べ、「相談により事案解決(助言・情報提供等)」が増加した一方、「相談継続」、「解決不能」が減少しており、各相談機関において、多くの相談を解決に導いたことがわかります。



経年比較 (その後の経過別)

※総数 3,856件

	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度	
相談により事案解決(傾聴)	777件	(20.5%)	846件	(23.4%)	931件	(24.1%)
相談により事案解決(助言・情報提供等)	1,132件	(29.9%)	1,106件	(30.6%)	1,597件	(41.4%)
個別の専門相談機関等につなぎ専門相談機関等で対応	545件	(14.4%)	522件	(14.5%)	370件	(9.6%)
解決不能	116件	(3.1%)	75件	(2.1%)	69件	(1.8%)
相談の継続	848件	(22.4%)	835件	(23.1%)	401件	(10.4%)
相談者からの相談中断の申出	35件	(0.9%)	36件	(1.0%)	21件	(0.5%)
その他	336件	(8.9%)	191件	(5.3%)	467件	(12.1%)